



王 岩さん（経済学部卒業）

現在、本学には新生42名を含め242名の留学生が在籍している。今回インタビューした王岩さんは卒業後すぐに中国に帰り、日系企業数社で働きながらキャリアを積み上げてきた卒業生だ。王岩さんのお話は留学生にはもちろん、日本人学生にとっても貴重なアドバイスになるのではないだろうか。

経法大を選んだ理由は何ですか。

経法大は昔から国際交流を重要なテーマとして取り組んでいましたので、私にとってかなり魅力的でした。このような国際色豊かな大学で留学生活を送れば、きっと勉強になるだろうと思って受験しました。実際に入学してみると、確かに世界の大学との交流が盛んで、私も積極的に国際交流活動に参加してきました。

特に国際部は私たち留学生にとって、まさに家庭のようなものでした。国際部を通じて、地域における国際交流活動、異文化体験会などの活動に参加し、一人の国際人としての価値を感じ取ることができました。

経法大で身につけた国際交流経験は今の仕事の中でも役立っており、周りの日本人とのコミュニケーションを取る際に、自分の立場のみならず相手の立場をも視野に入れて考えるようにしています。

大学生活の中で最も印象に残っていることは何ですか？

大学生活の中で、最も印象に残っていることは私の卒業式です。1998年3月18日に貴重な4年間の留学生活を終えて、新しい舞台で新しい目標に挑戦しはじめました。私たち私費留学生はアルバイトをしながら勉強しなければならぬので、確かに辛いこともありましたが、そのような私たちにとって大学を卒業できたということは最重要であり、まさに「錦を着て故郷に帰る」ことなのです。ですから、卒業式の時には興奮した気持ちと同時に新しい

目標に向けてチャレンジしていきたい気持ちで一杯でした。

私は中国からの留学生として中国経済に関心があり、中国経済について学ぶゼミに属していましたが、そこでの勉強を通じて、中国の将来に対する自信や憧れを持つようになりました。私は卒業式翌日の3月19日に帰国しましたが、自分の祖国で日本留学の経験を生かし、中日間の架け橋の役割を果たしながら、成功したいという気持ちが私の最大の帰国理由です。

王さんは卒業後、中国に帰国して就職されましたが、こういったお仕事をされてきたのでしょうか。

中国でもIT産業が急速に発展しており、この分野に入れば将来がきっと明るいと考えるNTT DATAに入社しました。入社後は商務課長として中国金融現代化プロジェクトに従事してきました。私が担当していたのは、相手先との商務交渉や研修実施、プロジェクトスケジュール調整などです。このプロジェクトは中国最大規模のRTGS(リアルタイム決済システム)として世界から注目されていたので、私もその一員として常に誇りを持ちながら努力してきました。

このプロジェクトは2001年6月に完成し、私も新しい選択の時を迎えました。通信ビジネスが中国で大いに期待されていたので、日立有限公司に転職し、PHS通信製品の販売を中心に市場開拓に取り組んできました。

その後、転職のチャンスを得て、総合商社の丸紅に移り、IT・通信事業部で部長補佐として、光伝送設備、SoftSwitch、サーバー、

GPRS移動端末、PHS移動端末等の販売を担当しながら、CRM(Customer Relation Management)ソリューション提案及びリース案件などを積極的に推進しています。

大学生生活の経験が今の仕事に役に立っていると感じることは何ですか。

役立ったことはやはり国際交流の経験です。私は中国人として、その経験を生かしながら中日間の架け橋の役割を果たすことができたと感じています。実際に商務交渉の仕事において、一方的なことばかりを主張しても何もありません。自分の利益を100%実現しようとするのはあくまで理想的で、固い考え方で交渉に臨むようであれば、成約に至ることができません。したがって、事前に必ず何かの双方の妥協点を考えておく必要があります。私は日本の文化を把握しながら、双方の利益を守った形で仕事を進めてきたと考えています。

今後の夢や目標について教えてください。

今後の夢は自分の会社を作ることです。今までの仕事については満足していますが、さらに自分の能力を発揮して、日中ビジネスコンサルティング会社を作ることができれば、もっとやり甲斐があると思います。実現するには多大な努力、絶好のチャンスが必要です。いま私にとってできるのは日常の仕事に一生懸命にやることだけで、この小さな努力が大きな夢を実現するための足がかりだと信じています。

校友会報

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS AND LAW



C O N T E N T S	
校友会NOW	
第4回沖縄支部総会報告・各支部の連絡先	2
事務局掲示板	
第16回校友会幹事会報告	4
キャンパスナウ	
キャンパスマップ・経法大の歩き方	8
法科大学院と本学の進学指導体制	12
大学の近況	14
活躍する卒業生	16

第4回沖縄支部総会報告

2003年3月21日、午後5時より炭火居酒屋「げん太」にて、第4回沖縄支部総会が開催された。総会には9名の沖縄支部校友と校友会本部から斉藤常任幹事・加藤幹事が出席した。支部総会は、少人数ではあったが、和やかな雰囲気で行われ、会員の拡大・支部総会参加人数の確保等について意見交換が行われた。審議の結果、今回の出席者を中心に支部会員に連絡をとり、近日常に再度集まることと沖縄支部独自の活動を年度内に企画することが確認された。また、田中巖徳氏の校友会正会員への推薦を校友会幹事会に諮ることとなった。

開催日時 2003年3月21日(金) 17:00～22:00
 開催場所 炭火居酒屋「げん太」
 出席者 9名(卒業生7名、職員2名)

総会内容

- 1 開会の辞
 - 2 校友会代表(斉藤常任幹事)挨拶
 - 3 沖縄支部長(具志堅氏)挨拶
 - 4 第4回校友会総会の報告
 - 5 議事
 - (1)沖縄支部活動について
 - 1 会員の拡大
 - 2 総会の参加人数の確保
 - (2)その他
 - 田中 巖徳氏(1989年入学、1992年12月まで在籍)の校友会正会員への推薦について
 - 6 沖縄副支部長(砂川氏)挨拶
 - 7 閉会の辞
- 総会終了後、懇親会を行った。



大阪経済法科大学 **校友会のホームページが、リニューアルされ、開設されます。**

現在、大阪経済法科大学校友会のホームページのリニューアルの作業が行われています。7月開設に向けて努力しております。

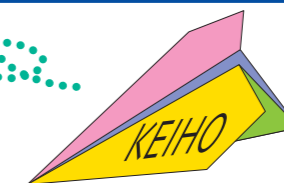
掲載内容としては、下記のを予定しています。

- 1 校友会の沿革
- 2 第5回校友会総会報告
- 3 校友会行事予定
(幹事会、地方支部総会、大学祭等の日程)
- 4 校友会会員の住所変更届
- 5 校友会名簿の閲覧申請
- 6 校友会員の連絡掲示板
- 7 その他

上記以外にも、今後、会員の皆様のご意見を参考にし、充実したコンテンツづくりに鋭意、努力を重ねたいと思います。

各支部の連絡先

- 東京支部** 支部長 宮松 久浩
 ・勤務先 伊藤忠ウインドウズ株式会社 関東営業所 所長
 ・TEL03 - 5549 - 4451
 ・E-mail:miyamatsu@itcw.co.jp
- 愛知支部** 支部長 中町 守人
 ・住所 〒547 - 0802名古屋市南区要町5 - 86 (有)中町印刷
 ・TEL052 - 612 - 0120
- 石川支部** 支部長 松井 信司
 ・住所 〒902 - 0935金沢市石引1 - 13 - 14
 ・(携帯電話)090 - 8267 - 5172
 ・E-mail:smatui@po3.nsknet.or.jp
- 岡山支部** 支部長 津嶋 講一
 ・住所 〒706 - 0224玉野市八浜町大崎1843-1 (有)オレンジ薬局 / 代表取締役
 ・勤務先 086-261-2266
 ・TEL0863 - 51 - 3766(自宅)



- 香川支部** 支部長 石塚 央
 ・住所 〒763 - 0072丸亀市山北町529 - 1
 ・(携帯電話)090 - 5144 - 7096
- 高知支部** 支部長 小橋 光生
 ・住所 〒780 - 0064高知市和泉町11 - 16
- 広島支部** 支部長 柘田 博昭
 ・住所 〒733 - 0033広島市西区観音本町1 - 13 - 21
- 福岡支部** 支部長 力武 英登
 ・勤務先 (株)不二越・九州支店 機械工具グループ
 ・TEL092 - 441 - 2505
- 沖縄支部** 支部長 具志堅充彦
 ・住所 〒904 - 2214具志川市字安慶名309
 ・TEL098 - 972 - 3388

第16回校友会幹事会報告

5月17日(土)、大阪経済法科大学留学生宿舎「I.S.D 布施」において、第16回校友会幹事会が開催された。幹事会では、第3期校友会役員(案)・2002年度事業報告(案)及び収支決算書(案)・2003年度事業計画(案)及び収支予算書(案)などの審議され、承認された。

今回の幹事会の議案承認を受け、6月28日(土)開催の「第5回校友会総会」で、その内容が報告されることとなった。(資料参照)

第3期校友会役員

(留任)顧問	藤田 整	学長 / 経済学部教授	(新任)幹事	山田忠宏	4期生	1977年度卒業
(留任)会長	伴井敬司	1期生 1974年度卒業	(新任)幹事	福井和夫	6期生	1979年度卒業
(留任)副会長	安田公治	2期生 1975年度卒業	(新任)幹事	前吉克明	8期生	1981年度卒業
(留任)副会長	勝部恒夫	5期生 1978年度卒業	(新任)幹事	政宗正章	8期生	1981年度卒業
(留任)副会長	澤 勲	学長補佐 / 教養部教授	(新任)幹事	濱田剛史	13期生	1986年度卒業
(留任)常任幹事	阪本 誠	4期生 1977年度卒業	(新任)幹事	宮本英浩	17期生	1990年度卒業
(留任)常任幹事	北垣義弘	7期生 1980年度卒業	(新任)幹事	江川充彦	17期生	1990年度卒業
(留任)常任幹事	斉藤公晴	12期生 1985年度卒業	(新任)幹事	出口 寛	22期生	1995年度卒業
(留任)常任幹事	柴田 剛	14期生 1987年度卒業	(新任)幹事	福本憲男		法学部教授
(留任)常任幹事	徳原祥隆	事務局長 / 教養部教授	(留任)幹事	折田博昭	3期生	1976年度卒業(広島支部長)
(留任)常任幹事	岩村 等	学生部長 / 法学部教授	(留任)幹事	具志堅充彦	8期生	1981年度卒業(沖縄支部長)
(留任)常任幹事	丸井龍夫	庶務課長	(留任)幹事	中町守人	1期生	1974年度卒業(愛知支部長)
(留任)常任幹事	太田羊一	学生課長	(留任)幹事	石塚 央	6期生	1979年度卒業(香川支部長)
(留任)幹事	石神利一	4期生 1977年度卒業	(留任)幹事	津嶋謙一	4期生	1977年度卒業(岡山支部長)
(留任)幹事	八瀬林 肇	6期生 1979年度卒業	(留任)幹事	松井信司	6期生	1979年度卒業(石川支部長)
(留任)幹事	中津広志	13期生 1986年度卒業	(留任)幹事	宮本英浩	9期生	1982年度卒業(東京支部長)
(留任)幹事	溝上容子	13期生 1986年度卒業	(留任)幹事	力武英登	7期生	1980年度卒業(福岡支部長)
(留任)幹事	加藤真司	17期生 1990年度卒業	(留任)幹事	小橋光生	1期生	1974年度卒業(高知支部長)
(留任)幹事	山下博将	19期生 1992年度卒業	(留任)会計監査	橋本 聖	1期生	1974年度卒業
(留任)幹事	三戸泰樹	20期生 1993年度卒業	(留任)会計監査	鍛冶屋佳美	5期生	1978年度卒業
(留任)幹事	岩本敬貴	21期生 1994年度卒業				
(留任)幹事	村下 博	法学部教授				
(留任)幹事	伊奈健二	経済学部教授				
(留任)幹事	勝 英雄	教養部教授				
(留任)幹事	里村 茂	就職課長				
(留任)幹事	竹谷育久	財務部長(会計課長)				

2002年度事業報告

[2002年]

4月13日(金)

校友会高知支部設立総会を開催

- ・参加者19名
- ・高知支部規約、高知支部役員について提案され、承認された。

5月18日(土)

第13回校友会幹事会を開催

高知支部設立総会の報告がなされ、高知支部規約及び支部役員が承認された。
各支部総会の報告(岡山支部・東京支部・沖縄支部・香川支部・石川支部)がなされ、岡山支部の役員増員、沖縄支部の第2期役員、香川支部の第2期役員が承認された。

2001年度事業報告(案)及び収支決算書(案)が提案され、承認された。

2002年度事業計画(案)及び収支予算書(案)について提案され、承認された。

第4回校友会総会の実施内容(案)について提案され、承認された。
校友会費の納入に関する申し合わせの一部 改正(案)が提案され、承認された。

5月30日(木)

校友会報(第5号)を発行

第2回高知支部総会、第2回東京支部総会、第2回岡山支部総会、第2回石川支部総会、第3回香川支部総会の報告
第3回校友会総会の報告
2001年度事業報告・2001年度収支決算書の報告

2002年度事業計画・2002年度予算書の報告
大学の近況・活躍する卒業生・会員からのメッセージ・在学生の活躍・最近の主なクラブ活動・戦績紹介など

6月22日(土)

第14回校友会幹事会を開催

第4回校友会総会実施要領についての打ち合わせ
西沢十三氏(校友会幹事)の役員交代について提案され、承認された。

6月22日(土)

第4回大阪経済法科大学校友会総会を開催

参加者 約120名
2001年度事業報告及び収支決算書、2002年度事業計画及び収支予算書、校友会費の納入に関する申し合せの一部改正について報告された。

12月21日(土)

校友会常任幹事による座談会「今後の校友会事業のあり方を考える」を開催

12月21日(土)

第15回校友会幹事会を開催

2003年度事業計画(案)について審議された。
第3期校友会役員(案)について審議された。

[2003年]

2月22日(金)

第3回校友会岡山支部総会を開催

参加者9名
岡山支部役員(案)が提案され、承認された。
会員の拡大、倉敷地域・津山地域の懇親活動の強化、支部総会の参加人数の確保について審議された。

3月20日(木)

校友会報(第7号)を発行

校友会常任幹事による座談会
第4回校友会総会の報告
第3回岡山支部総会、第4回沖縄支部総会の報告
大学の近況・活躍する卒業生・在学生の活躍・最近の主なクラブ活動・戦績紹介など

3月21日(金)

第4回校友会沖縄支部総会を開催

参加者9名
第4回校友会総会の報告、支部活動の活性化について意見交換なされた。
田中巖徳氏の校友会正会員への推薦を幹事会に諮ることが了承された。

2002年度校友会収支決算書

2002年4月(日から2003年3月31日まで)

(単位:円)

収入の部				
項目	予算額	決算額	差異	備考
1. 校友会費				
準会員	10,105,000	10,317,500	212,500	
正会員	1,000,000	1,105,000	105,000	
特別会員	400,000	220,000	180,000	
2. 懇親会参加費	450,000	249,000	201,000	
3. 受取利息	300	91	209	
4. 前年度繰越金	3,516,696	3,516,696	0	
収入の部合計	15,471,996	15,408,287	63,709	

支出の部				
項目	予算額	決算額	差異	備考
1. 総会				
総会・懇親会	2,500,000	2,140,122	359,878	
案内状	100,000	105,000	5,000	
旅費交通費	300,000	177,060	122,940	
2. 幹事会				
幹事会開催	150,000	22,726	127,274	
旅費交通費	200,000	28,950	171,050	
3. 支部総会				
支部総会開催	800,000	543,436	256,564	
支部設立・準備会	450,000	0	450,000	
通信費	720,000	326,407	393,593	
旅費交通費	300,000	91,030	208,970	
4. 会報				
校友会報印刷	2,500,000	2,320,500	179,500	
会報発送費	4,200,000	3,996,598	203,402	
発送代行費	650,000	627,228	22,772	
5. 共通・事務費				
渉外費	200,000	0	200,000	
封筒等印刷	930,000	861,462	68,538	
報酬委託手数料	0	9,020	9,020	振込手数料等
6. 予備費				
予備費	150,000	99,239	50,761	総会案内用タックシール代
小計	14,150,000	11,348,778	2,801,222	
次年度繰越金	1,321,996	4,059,509	2,737,513	
支出の部合計	15,471,996	15,408,287	63,709	



2003年度事業計画



1 第5回校友会総会及び懇親会の開催

開催日時
2003年6月28日(土)15:00～18:30
開催場所
ザ・リッツ・カールトン大阪
大阪市北区梅田2丁目5番25号
TEL06・6343・7000(代)
実施要領
第5回校友会総会 15:00～15:45
総会議事

- (1) 校友会会長挨拶
- (2) 学長挨拶
- (3) 2002年度事業報告及び
収支決算書について
- (4) 2003年度事業計画及び
収支予算書について
- (5) 第3期校友会役員について
- (6) その他

講演会 15:45～16:45
講演者 濱田 剛史氏(本学OB 弁護士)
演題 『知って得する法律知識—日常生活編』
懇親パーティー 17:00～18:30

2 校友会支部総会の開催

地方支部が設立されている各県(香川県・沖縄県・
愛知県・広島県・岡山県・石川県・福岡県・東京都・
高知県)の支部総会を開催する。

3 校友会報の発行

校友会報第8号を発行する。
掲載内容
第5回校友会総会の案内
第3期校友会役員について
2002年度事業報告及び収支決算書について
2003年度事業計画及び収支予算書について
本学の近況
活躍する卒業生
発行予定 2003年5月下旬

4 校友会ホームページの作成

5 校友会奨学金の創設

校友会奨学金を創設する。
奨学金概要
<目的>
優秀な資質を有しながら、経済的理由により
修学が困難な本学学生に対し、奨学金を給
付する。
採用人数 16名(各学年4名)
給付金額 月額2万円(年額24万円)
採用基準 学力と家計により選考

2003年度校友会収支予算書

2003年4月1日から2
004年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備考
1. 校友会費				
準会員	13,890,000	10,105,000	3,785,000	
正会員	1,000,000	1,000,000	0	
特別会員	200,000	400,000	200,000	
2. 懇親会参加費	450,000	450,000	0	
3. 受取利息	100	300	200	
小計	15,540,100	11,955,300	3,584,800	
前年度繰越金	4,059,509	3,516,696	542,813	
収入の部合計	19,599,609	15,471,996	4,127,613	

支出の部

項目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備考
1. 総会				
会議費	2,500,000	2,500,000	0	総会・懇親会・講演会
印刷製本費	380,000	100,000	280,000	案内状(カラー刷り)等
旅費交通費	300,000	300,000	0	支部役員等出席旅費
2. 幹事会				
会議費	150,000	150,000	0	幹事会開催費用
旅費交通費	200,000	200,000	0	支部役員等出席旅費
3. 支部総会				
会議費	900,000	1,250,000	350,000	支部総会開催費
通信費	500,000	720,000	220,000	案内の発送費用等
旅費交通費	300,000	300,000	0	支部総会への出席旅費等
4. 会報・ホームページ				
印刷製本費	1,200,000	2,500,000	1,300,000	校友会報年1回発行
通信費	2,100,000	4,200,000	2,100,000	校友会報発送費
報酬委託手数料	600,000	650,000	50,000	発送代行費、ホームページ制作費
5. 奨学金・卒業生名簿				
奨学費	3,840,000	0	3,840,000	16名(各学年4名)×2万円×12ヶ月
印刷製本費	150,000	0	150,000	2003年度卒業生名簿
6. 共通・事務費				
渉外費	100,000	200,000	100,000	
印刷製本費	800,000	930,000	130,000	封筒等
消耗品費	200,000	0	200,000	会報送付用タックシール
通信費	100,000	0	100,000	
報酬委託手数料	300,000	0	300,000	
7. 予備費				
予備費	100,000	150,000	50,000	
小計	14,720,000	14,150,000	570,000	
次年度繰越金	4,879,609	1,321,996	3,557,613	
支出の部合計	19,599,609	15,471,996	4,127,613	

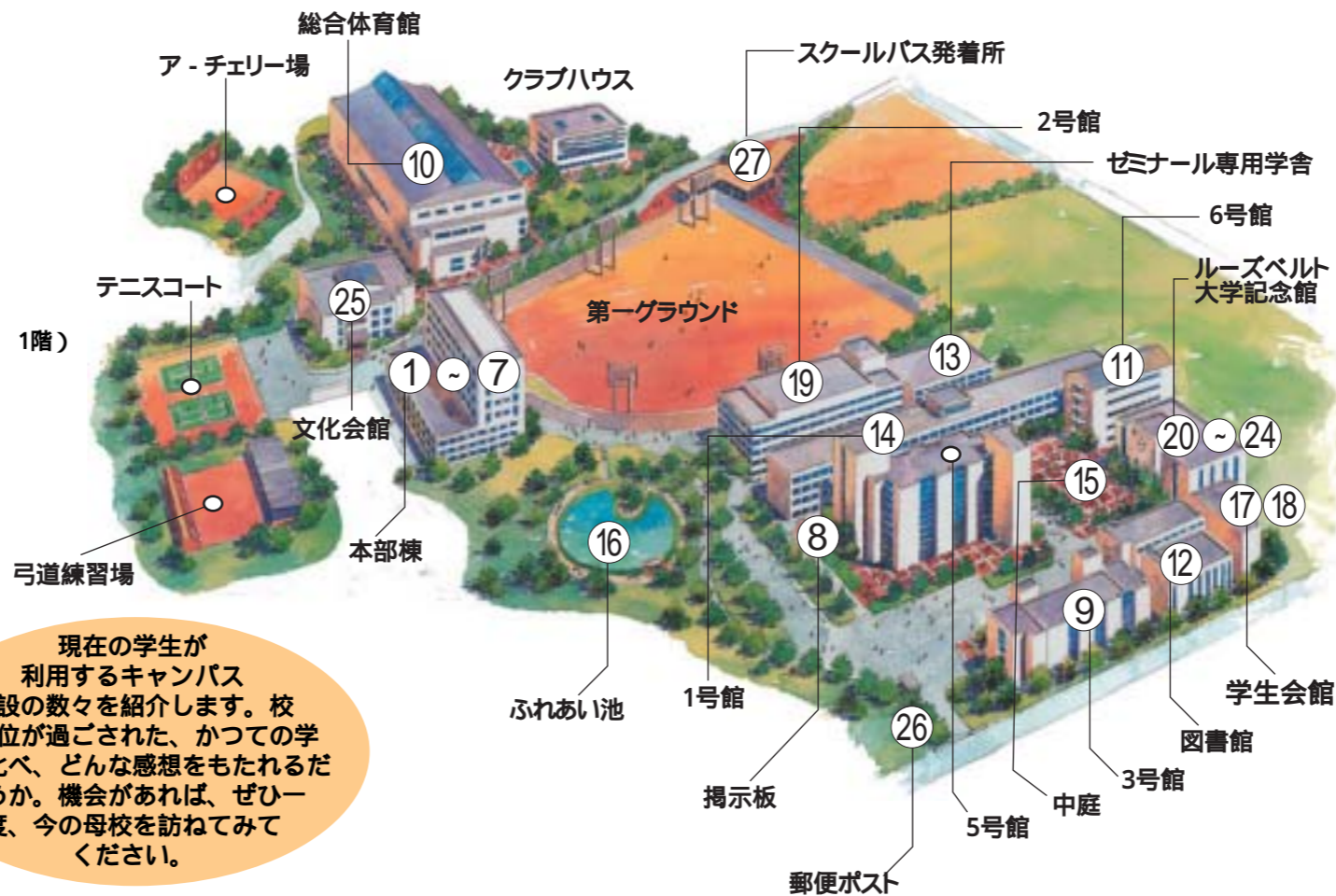


キャンパス・ナウ



キャンパスマップ・経法大の歩き方

- 1 教務課(本部棟 1階)
- 2 学生課(本部棟 1階)
- 3 医務室(本部棟 1階)
- 4 学生相談室(本部棟 1階)
- 5 国際部(本部棟 2階)
- 6 就職課(本部棟 2階)
- 7 教員研究室(本部棟 4階~7階)
- 8 掲示板
- 9 3号館
- 10 総合体育館
- 11 学生PCラウンジ(6号館 1階)
- 12 図書館
- 13 ゼミナル専用学舎
- 14 バリアフリールーム(1号館 1階)
- 15 中庭
- 16 ふれあい池公園
- 17 出版部(学生会館 1階)
- 18 カフェレストランOEL(学生会館 2階)
- 19 エクステンションセンター(2号館 1階)
- 20 キャンパスレストラン(ルーズベルト大学記念館 1階)
- 21 三井住友銀行ATM・郵便局ATM(ルーズベルト大学記念館 1階)
- 22 学生ラウンジ・ファーストフードU(ルーズベルト大学記念館 2階)
- 23 スピード写真(ルーズベルト大学記念館 2階)
- 24 プラザコンビニエンス(ルーズベルト大学記念館 2階)
- 25 厚生会プラザ・エル(文化会館 1階)
- 26 郵便ポスト
- 27 スクールバス発着所



現在の学生が
利用するキャンパス
施設の数々を紹介します。校
友各位が過ごされた、かつての学
舎と比べ、どんな感想をもたれるだ
ろうか。機会があれば、ぜひ一
度、今の母校を訪ねてみて
ください。

① 教務課(本部棟 1階)

授業科目の登録や履修に関する相談、各種証明書の発行を行っています。

② 学生課(本部棟 1階)

サークル活動に関するさまざまな手続から、奨学金の申請受付、下宿やアルバイトの紹介まで、学生生活全般を幅広くサポートしています。

③ 医務室(本部棟 1階)

大学生生活をより楽しく充実したものにするため健康に対する自己管理のお手伝いをしています。専門の医師による一般的な健康相談から予防相談、スポーツ外傷などについても相談に応じてもらえます。学内で病気・怪我をしたときだけでなく、身体に不調を感じたら気軽に相談しましょう。

④ 学生相談室(本部棟 1階)

学生生活を送る間には、小さな事から深刻な悩みまでいろんな問題にぶつかることがあります。一人でどうしていいかわからないときは専門のカウンセラーがみなさんとともに考え、問題を解決する方法を探ります。もちろん秘密は厳守されます。

⑤ 国際部(本部棟 2階)

学内で催される国際交流イベントの案内や、留学のための相談、アドバイスなどを行っています。さまざまな国の雑誌や語学教材もそろっています。また、留学生たちによる語学レッスンも行われています。休憩時間には学生たちが集まりお茶をのみながら談話しています。語学を身につけたい人はぜひ覗いてみては!



⑥ 就職課(本部棟 2階)

求人企業のデータファイルや個人面談など、学生たちの就職活動をバックアップします。1年次から4年次まで、一貫した就職支援行事を実施し、各学年の就職支援の目標と内容を明確にした、就職支援プログラムを提供しています。学生ひとりひとりの能力と適性に応じた就職相談を学年を問わず随時行っています。



⑦ 教員研究室(本部棟 4階~7階)

4階から7階までは教員の研究室です。研究室を訪ねるときは、まず1階教務課前カウンターに設置されている内線電話で在室を確認しましょう。

⑧ 掲示板



大学では学生への連絡・伝達事項はすべて掲示によって行われます。一度掲示した事項については全学生に周知されたものとみなされますので、登校の都度必ず掲示板を見るようにしましょう。掲示板は大学のいたるところにあります。何がどの掲示板に掲示されるのか熟知しておきましょう。



9 3号館

国際的なコミュニケーション能力を向上させるための、語学専用施設です。各教室には多様な授業形式が可能な3方式対応ビデオなど、最先端機材が備わっています。

10 総合体育館

関西屈指の充実した設備と規模を誇る体育館。バスケットコートが3面取れる広大なアリーナや、室内競技系クラブの練習室、トレーニングルームも完備。専属トレーナーによる指導も受けられます。ちょっとしたおすすめスポットは3階のベランダ。大阪平野が一望でき、刻々になると夜景がすごいです。



11 学生PCラウンジ(6号館 1階)

自学習用パソコンが90台設置されており、レポート作成やインターネットによる情報検索など、多目的な利用が可能です。操作にとまどいたらヘルプデスクがアドバイスをしてくれます。授業の空き時間を有効に利用してコンピュータスキルを身につけましょう。



12 図書館



図書館には経済・法学の専門図書や貴重な資料をはじめ、文芸、一般教養関連の図書まで幅広く約31万冊の蔵書があります。1階は図書館のメインカウンターとなっており、図書の貸出・返却、利用相談などを行っています。図書検索・資料収集などはコンピュータが瞬時に検索してくれる図書管理システムが設置されており、必要な情報が素早く検索できます。2階は学習をサポートするメイン閲覧室となっています。開架式になっているので各種図書・参考書の他、新聞や雑誌、地図、百科事典なども自由に閲覧することができ、レポート作成や試験勉強に便利です。3階はマルチメディア閲覧室として、視覚による学習を中心に情報関係、講義指定図書、就職資格関係の資料が配置されています。自由に利用できるPCが19台設置されているPCコーナーではインターネットに接続して必要な情報を入力し、レポート作成や試験準備研究などに利用できます。また、AVブースではビデオ・レーザーディスク・DVDを視聴することができます。

13 ゼミナール専用学舎

ゼミナール棟は5階建てで24室のゼミ専用教室をもつ少人数教育を目的とした施設です。教員と少人数の学生が膝をまじえて、よりきめの細かい充実した演習形式の授業が行われます。

14 バリアフリールーム(1号館 1階)

「すべての人が支障なく生活できる」がバリアフリーの原点です。バリアフリールームは身体障害学生の生活を支援する窓口として、本学のすべての人に開放されたパブリックスペースです。授業を受けるのに補助が必要な学生には、点訳・対面朗読・ノートテイク・手話通訳・作業介助など必要に応じて援助をしています。また手話通訳の教室も開いています。



15 中庭(ケヤキ広場)

ケヤキの木に囲まれた中庭。今春新しくなったベンチでちょっと一息。いろんな学生イベントもこの広場で行われます。



16 ふれあい池公園

水と緑の憩いのスポットです。池の周りには四季折々の花が咲き、冬には可愛いカモも飛来します。これからは池の周りのショウブ、アジサイが綺麗です。また、池では絶滅が危惧されている貴重な「ニホンバラタナゴ」の繁殖計画も進行中。付近の人もよく散歩に訪れます。



17 出版部(学生会館 1階)

本を購入するなら学生会館1階にある大学出版部直営の書店で。教科書をはじめ学術書や、就職・資格関係の書籍も豊富です。またここで希望する本が見つからない場合は、書籍注文もしてもらえます。それに、ほとんどの商品について割引サービス(5%)があるので、一般の書店で買うよりもお得です。文庫本1冊でも気軽に注文できますよ。

(営業時間 9:15 - 16:30)



18 カフェレストランOEL(学生会館 2階)

喫茶・軽食ですが、予算やメニューは相談に応じてくれるのでゼミ・クラブの集いに利用しては、カラオケ・ビデオ設備もあります。

19 エクステンションセンター(2号館 1階)

資格取得支援センターとして設置され、司法試験や公認会計士を受験するための特修講座、宅建、簿記検定、TOEICなどの各種国家試験・検定試験合格などのための資格・検定講座を開講しています。また、大学院進学希望者のためのサポートもおこなっています。センター内にはパソコンコーナーやビデオコーナー、グループ学習室や自習室が設置されており、資格に関する書籍・ビデオカセット・案内資料などの貸し出しサービスによって資格取得に向けた学習をサポートしています。また受講生に対して大学が費用の一部を負担する「パウチャー制度」が全学生に適用されます。在学中に何か一つ資格取得を目標にしましょう!

20 キャンパスレストラン(ルーズベルト大学記念館 1階)



メニューが豊富で、しかも安くボリュームたっぷり。カレー、麺類、丼物の定番メニューに加えて、目で確かめて好きなメニューをチョイスできる一品物も豊富。おすすめは日替わりメニューのサンキュウセット、おかずにご飯、おみそ汁がついて390円。これからの季節はソフトクリームもおいしいですよ。

(営業時間 平日9:00 - 18:00)

21 三井住友銀行ATM・郵便局ATM(ルーズベルト大学記念館 1階)

ATMでは提携金融機関のキャッシュカードが利用できます。

(営業時間 平日9:00 - 18:00 / 土曜日9:00 - 13:00)

23 スピード写真(ルーズベルト大学記念館 2階)

学生証の更新手続きなど写真が必要な時はここで、4枚1組500円。

(営業時間 9:00 - 18:00)

22 学生ラウンジ・ファーストフードU(ルーズベルト大学記念館 2階)

ちょっとお腹がすいたときに、「蜂の巣」の愛称で親しまれているコアベンチで友達と雑談しながらハンバーガーを!

(営業時間 10:00 - 16:00)



24 プラザコンビニエンス(ルーズベルト大学記念館 2階)

お弁当・お菓子・パン等の食べ物から、文具・日用品・切手・ICカードのほか、大学指定の就職履歴書・体育館シューズ・フロッピーディスクなどを取り扱っています。

(営業時間 10:00 - 16:00)

25 厚生会プラザ・エル(文化会館 1階)

日替わり定食や麺類があります。また、今春リニューアルされ、スナックパンやインスタントヌードルの自動販売機も設置されました。自販機で麺類が? 一度のぞいてみてください。

(営業時間 10:00 - 16:00)



26 郵便ポスト

大学内に郵便ポストがあるのを知っていますか。正門横に設置されており平日は1日3回集配にきてくれます。

27 スクールバス発着所

ここから近鉄大阪線「山本駅」、近鉄奈良線「瓢箪山駅」行きのスクールバスが出ています。平日は朝8時過ぎから最終20時15分まで10分から15分間隔でピストン運行しています。



法科大学院と本学の進学指導体制

いよいよ始動した 法科大学院選抜試験

法科大学院に入学を志願する者が受けなければならない「適性試験」の要項が大学入試センター、(財)日弁連法務研究財団より相次いで発表された。両試験とも8月に実施されることとなり、予想より若干早く試験が行われることになった。6月以降、各法科大学院の設置認可手続きが行われ、12月以降に入試要項が確定・公表、2月に各法科大学院による入学者選抜試験が実施される予定である。

「司法制度改革審議会設置法」(1999年6月公布)から4年、「同最終意見」から2年間の準備期間を経て、来年4月、21世紀の新しい司法制度の要となる「法科大学院」が開校することとなったのだ。

本学の取り組み

司法改革に呼応して、各大学法学部においても学部教育のあり方など、法学部教育の改革議論が活発に行われた。本学においても、2001年7月の「法学部将来構想検討委員会」第1回検討委員会以降、検討を重ね、昨年12月に答申「大阪経済法科大学法学部の将来像について」が提出された。答申では、法学部の教育理念である「共生社会への貢献」に基づき、新カリキュラムと系統的履修を保障する「コース制」と「履修モデル」が提案されている。法科大学院進学モデルはその一つとして、法科大学院進学希望者にはできる限りの支援をすることが謳われている。

法科大学院入学試験と 本学の対策について

法科大学院は、法曹養成に特化した教育を行う新しい概念の大学院「専門職大学院」として位置づけられている。しかし、入学選抜試験については、現在なお不明確な部分が多くあるのが現状である。現時点(4月19日)で明らかになっている「適性試験」についても、実施団体が「大学入試センター」と(財)日弁連法務研究財団があり、受験生はどちらを受験すればよいのか、各法科大学院がその資料をどのように選抜資料とするのか、また、個別の試験はどのようにして行われるのか、2年コースに希望する場合の法学既習者認定はどのようにするのかなど、まだ不明確な部分が多い。

しかし、このような不明確さはあるが本学ではいち早く、エクステンションセンターを中心に法科大学院入試対策講座をプログラム化している。

1 法科大学院入学試験の 内容

現在明らかにされている法科大学院選抜方法は、適性試験(統一試験)、法律科目試験(2年コース希望者)、小論文、面接、大学在学中の成績、語学力、ボランティア活動などである。

適性試験

法律学についての知識ではなく、法科大学院における履修の前提として要求される判断力、思考力、分析力、表現力等の資質を試すも

のである。日本版LSAT=Law School Admission Testと呼ばれ、国家公務員試験の「判断推理」「数的処理」や「日本語文章能力」の問題であるとされている。

法律科目

法科大学院は3年コースが基本コースとなっているが、法学知識を有する者には「2年コース」も設定されている。その判定を客観的に判断する試験が「法学既習者認定試験」である。この試験は、「法学既習者としての入学を希望するものには適性試験に加えて法律科目試験を行う」とされており、法科大学院の法律科目の履修を省略できる程度の学識を備えているかどうかを判断するものである。

試験科目は、基本六法(憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法)が中心となり、行政法が加わる場合もある。

小論文、面接など

各法科大学院の独自選考として、「小論文や面接等を組み合わせるかどうかが、組み合わせる場合の配点比率をどうするか等は、各法科大学院の自主的判断に委ねられる」とされ、その他の選考資料として、大学在学中の成績、語学力、ボランティア活動などが資料として用いられる。

右表「大学から法曹(弁護士、検事、裁判官)への道」参照

2 法科大学院入学試験対策に ついて

エクステンションセンターでは、法科大学院

入学試験科目である 適性試験、法律科目、小論文・面接などの対策を行っており、法学部新カリキュラム「法曹コース・法科大学院進学モデル」と連携した講座体系を構築している。2003年度は、3・4年生への対策講座を中心に開設し、1・2年生の講座生には基礎的な講座を開設、全学年の法科大学院進学希望者に対応した講座体系となっている。

1年次 法学基礎学習

基本三法である「憲法」「民法」「刑法」の構造を理解し、2年次コース以降の専門学習の基礎学習を行う。

2年次 法科大学院進学準備 学習

法科大学院2年次コース入試の基礎となる「基本六法基礎コース」を春学期、法科大学院入試の統一試験である適性試験の基礎学習「適性試験対策基礎コース」を秋学期に学習する。

3年次 法科大学院進学対策

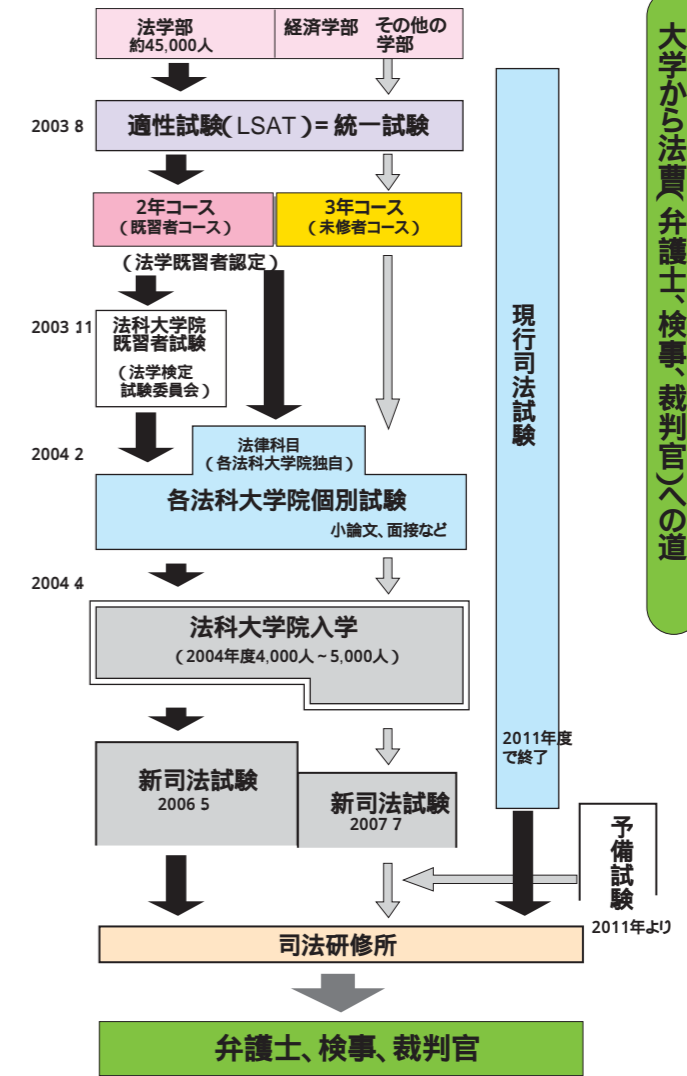
統一試験である適性試験対策を2年次秋学期より引き続き、3年次春学期において学習することでより効果が上がる仕組みとなっている。適性試験上級コースでは、判断推理、論理把握などをパターン化し、学習する。秋学期では各法科大学院独自試験である「小論文」添削、「面接」実技を行う。

また、これらの学習と平行し、法科大学院「2年コース」対策としての法律科目を、基本六法を中心に基礎・応用コースとして年間を通して学習する。

4年次 法科大学院入試対策

法科大学院入試科目である「適性試験」「小論文」「面接」等を直前対策として実践的な学習を行う。また、法学既習者認定試験科目である基本六法を基礎・応用コースと繰り返し学習し、マスターする。志望する法科大学院の入試情報に基づき個別指導も行う。

3 法科大学院進学指導体制 について



法学部新カリキュラムによる「コース制」と「履修モデル」の実質化を図るため、法学部とエクステンションセンターが連携した指導を行う。特に、より高度な知識を身につけ、多様な法現象を学ぶための「特講(公法特講、刑事法特講、民事法特講)」、より高度な法的・政治的素養を身につけることを目的とした「演

習」などの正課科目とエクステンションセンター法科大学院入試対策講座との密接な連携を行うために、合同ミーティング、学習会などを開催する予定である。

2 法科大学院入学試験対策について



新入生の学ぶ意欲溢れ、
大学生生活の着実な第一歩を踏み出す
**2003年度
フレッシュマンキャンプ開催**



2003年度フレッシュマンキャンプが、経済学部(4月4日・5日)、法学部(4月6日・7日)のそれぞれ一泊二日の日程で開催された。

今回のフレッシュマンキャンプも、昨年に引き続き、学生一人一人の顔が見え、コミュニケーションをとりやすいように昨年より更に1会場増やして6会場(サンヒル阪南、信貴山観光ホテル、八尾グランドホテル、サンピア大阪、サンルートホテル関空、アイ・アイランド)で開催した。

大学生生活への希望を抱く生き生きとした新入生が参加したフレッシュマンキャンプは、入門演習クラス単位(約20名)で研修に参加し、寝食を共にすることによって親睦を深め、入門演習授業の円滑な運営および大学生生活の第一歩をスムーズに進めることを目的に実施されている。新入生のほか、入門演習担当教員、サポートスタッフ(職員)、先輩学生スタッフが運営に参加し、文字通り全学で新入生を歓迎する一大イベントになった。

研修プログラムは、全体研修、クラスミーティング、学生団体による歓迎イベントの大きく3つで構成され、またスポーツイベントなど各会場ごとに特色あるプログラムが準備された。

大学内で実施された履修ガイダンス、大学生生活オリエンテーションを土台にして、全体研修では、「経法大で学ぶ」というテーマで、1)

2) 大学で学ぶ意義、2) 本学の教育の特色、3) 経済学または法学を学ぶ等を中心に、4年間の学習目標について熱のこもった説明がなされた。

また、「ウエルカムトーク」では、先輩が語る経法大の大学生生活というテーマで、本学の制度を活用して、留学や資格取得など様々な形で活躍している卒業生や先輩在学生の生の声を聞いた。また今年度は、1年生から就職について様々な観点から考えることができるように新しく開講された「キャリア開発」の講義内容の説明が職員スタッフから行われ、自らの就職活動経験談などが新入生に語られた。

クラスミーティングでは、クラス単位で自己紹介の後、担当教員から入門演習とは何か、またその運営方法について説明すると同時に、新入生からは入学の動機や、大学への期待等について話し合われた。そして、最終日には、各自の履修登録・時間割について、学生スタッフのアドバイスも受けながら具体的に作成作業を行い、あらためて学ぶ意欲を強くしたようだ。

「ウェルカム・ニューフェイス」と題した学生団体による歓迎会では、クラス対抗クイズ大会など各会場とも工夫を凝らした企画の中、新入生もリラックスした面もちで参加し、盛り上がりを見せた。

一泊二日という短い日程ではあったが、新入生にとっては、充実した大学生生活へ好スタートをきった二日間であったといえるのではないだろうか。

**第29回卒業式、経・法両学部
763名が実社会に飛び立つ**

3月18日午前11時から、第29回卒業式が挙行され、経済学部394名・法学部369名、合計763名が晴れて卒業の日を迎えた。

学歌斉唱で始まった卒業式では、学位記授与、藤田整学長の式辞、伴井校友会会長の祝辞と続いた後、学長賞・学部長賞・法学会学生顕彰論文優秀賞・スポーツ敢闘賞・文化活動特別賞など各賞の授与が行われた。

各賞授与の後、卒業生を代表して行った挨拶で、経済学部卒業生・瀧谷陽一さんは、「様々なことにチャレンジし、成功・失敗・困惑の中で見出せた結論と結果の集合体だった」と大学生生活を振り返りつつ、本学で培った知識・経験を卒業後の進路に活かしていきたいと力強く

決意表明を行った。
卒業式の後には、ゼミ別に教室に分かれて学位記が授与され、学生生活を共にしたゼミ生仲間や担当教員とともに、卒業の喜びを分かち合った。



**第33回入学式
新入生1048名を迎えて挙行**

4月3日午前10時から、本学総合体育館「尚淑館」で、2003年度(第33回)入学式が挙行され、新入生1048名(経済学部511名、法学部537名)と編入生29名(経済23名・法学6名)の合計1077名が入学した。当日は天候にも恵まれ、大学の桜並木も満開で新入生を迎えた。入学式では、経済学部・水島瑛美さん、法学部・亀地祐貴さんの力強い新入生代表挨拶に続いて、藤田整学長の式辞、柴田光謙・八尾市長の来賓祝辞、校友会執行委員長・後藤里恵さんの歓迎挨拶をいただき、最後は参席者一同で学歌「われらが白き学舎に」を斉唱して閉幕した。

式終了後、新入生はキャンパス中央の「けやき広場」に設置されたステージを中心に繰り広げられる新入生歓迎祭に参加した。特設ステージ上では、バンドライブやクイズ大会、ビンゴ大会などの各種イベントが行われたが、特に人気を集めたのは、人気沸騰中の芸人「テツ&トモ」で、ギター演奏に合わせた軽妙なコントにキャンパスは笑いの渦になった。また学友会や各クラブなど学生団体はクラブ紹介コーナーや模擬店を設置し、活発に勧誘活動を行った。



**新入生父母教育懇談会、
今年初めての実施**

入学式終了後、新入生父母教育懇談会が実施され、経済学部・法学部それぞれ250名を超える父母・保護者の方々が参加した。

この新入生父母教育懇談会は、入学式で来学する父母・保護者を対象に、本学の教育システム・内容や父母会の活動について説明し、学生の教育活動において大学と父母が協力していく第一歩として、今年度初めて実施されたものだ。

新入生父母教育懇談会では、それぞれ開会にあたって豊田経済学部長・形野法学部長の挨拶が行われ、各学部の教員と「入門演習」担当の教養部教員の紹介、パワーポイントを活用した教育説明会、加藤父母会会長の挨拶と父母会事業説明、就職指導説明会などが行われた。



遼寧大学代表団、本学を訪問

4月14日、張述禹党委員会書記、張偉副学長をはじめとする遼寧大学代表団6名が本学を訪問し、藤田整学長など本学学長団と懇談した。本学と遼寧大学とは1998年の協定締結以降、交換留学生の相互派遣・受入や国際学術会議の共催など、着実に交流実績を重ねている。今回の訪問・懇談では、締結から5年を経過した協定の更新とともに、さらに交流・協力を発展させていくことが合意された。



2003年度表彰式を開催

4月25日、2003年度大阪経済法科大学表彰式が開催された。この表彰式は、昨年12月16日の理事会で制定された表彰規程に基づくもので、教育上・学術上の功績、業務の改革・改善など、本学の発展に特に功績のあった教職員を表彰することを目的としている。

今年度の表彰式では、法学部将来構想検討委員会、中川孝博法学部助教授、奥野明子経済学部助教授、入試課の4件・22名とともに、永年勤続者10名が表彰され、金澤俊孝理事長から賞状と奨励金が贈られた。

留学生スキー体験会

2月16日(日)から3泊4日でスキー体験会が行われた。初心者も含めて48名の留学生や一般学生が参加し、約8時間の移動を経て早朝に菅平高原へ到着した。

スキー講習会は、まず歩く練習から始まったが、休憩を挟んで徐々に傾斜を滑る練習を行った。怖がっていた留学生も午後にはリフトで初級コースを滑れるようになっていた。

翌日はリフトを乗り継いで山頂付近まで登り、様々なコースを滑った。終盤になると果敢に上級コースにチャレンジする学生もいた。筋肉痛になりながらも、みんな充分に楽しんだ様子で、無事に2日間のスキー講習を終え菅平を出発した。

留学生卒業祝賀会

3月18日、卒業式後にISD布施(留学生宿舎)にて留学生卒業祝賀会が開催された。学生生活を共に楽しく過ごした一般学生や後輩留学生、教職員連が集まり、学長からの祝辞の後みんなでテーブルを囲み、卒業の喜びと学生生活の思い出について楽しく語りあった。途中、留学生と一般の卒業生から一言ずつ、交流の思い出や今後の抱負についてスピーチしてもらった。その後も、昨年の国際交流セミナーに参加した学生達が「炭坑節」を披露し、手拍子と笑い声が会場を沸かせた。互いに別れを惜しみつつも、それぞれの旅立ちを祝った。

第29回卒業式 各賞受賞者一覧

- 学長賞**
経済学部 小葉 邦洋
法学部 大原恵理子
経済学部 丹治 孝雄
法学部 谷井 毅
- 経済学部長賞**
柴田 康子 白江 直樹 野木 隆司
- 法学部長賞**
西村 美沙 森本 潤 竹田 哲也
- 法学会学生顕彰論文優秀賞**
一席 東野至圭夫
論文名「情況証拠による事実認定と自白の信用性評価について」
二席 當間 正敏
論文名「憲法25条における立法裁量論の検討」
三席 谷井 毅
論文名「手形の偽造と手形法8条の類推適用」
- 文化活動特別賞**
法学部 佐藤 薫子[ジャズ研究会]
- スポーツ敢闘賞**
経済学部 柴田 基輝[ソフトボール部]
法学部 荒井 望[テコンドー部]
前田 竜也[柔道部]
三田村英孝[卓球部]
- 学生部長賞**
経済学部 村下 達也[競技スキー部]
瀧巴 忍[競技スキー部]
藤原 崇道[ソフトボール部]
西原 繁誠[卓球部]
勝野由希子[女子卓球部]
華谷 昌代[チアリーダー部]
小森 幹生[アメリカフットボール部]
佐野 隆明[サッカー部]
岡西 貴史[剣道部]
京瀬 颯[陸上競技部]
岩本 昌伸[サンボ部]
出口 裕信[柔道部]
法学部 植村 純子[女子バレーボール部]
中田 明利[硬式野球部]
長尾 英道[硬式野球部]
富田 卓也[陸上競技部]
中川 和俊[バスケットボール部]
村田 岳人[軟式野球部]
松本 国継[軟式野球部]
段 貴大[ボラティアケル]

2003年度第1回異文化交流行事

4月26日、国際部では、新入留学生を歓迎し異文化交流をはかるため、バス2台をチャーターし総勢約80名で大阪府富田林市の「ワールド牧場」に行った。丘の傾斜を利用した景色の良い施設で動物とのふれあいを楽しみ、イルカショー、牧羊犬ショーなどを見物して過ごした。中国の留学生達はイルカをはじめ見る人が多く驚きと興奮を隠せない様子だった。